

水・大気環境局 大気生活環境室  
 水環境課  
 地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

(1) ヒートアイランド現象に関する調査及び観測

都市におけるヒートアイランド現象は、未だその発生メカニズムや環境影響等に未解明な部分が多く、ヒートアイランド対策推進の妨げとなっているため、メカニズム、環境影響及び対策効果の定量的評価等の調査・検討を進める。また、ヒートアイランド対策の知見を広く普及し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

- ・ 環境影響の調査、気温等の広域測定、現象に関する適応策検討調査
- ・ ヒートアイランド対策に関する普及啓発

(2) 環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証

ヒートアイランド現象が顕著な都市部において、水や緑を活用したヒートアイランド対策の効果や環境影響の検証を行う。

(3) 熱中症予防情報の提供及びモニタリング

ホームページにより熱中症に関する予防情報の提供を行う。また熱中症と暑熱環境の指標であるWBGT（湿球黒球温度）速報値の提供の充実を図る。

(4) モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検証

モデル地域において未利用水・未利用エネルギーの有効利用手法の検証を行い、クールシティの実現及びCO<sub>2</sub>の排出抑制による地球温暖化防止に役立てる。

2. 事業計画

|                               | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 |
|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 環境影響の調査、気温等の広域想定、適応策検討調査      |     |     |     |     |     |
| ヒートアイランド対策に関する普及啓発            |     |     |     |     |     |
| 環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証        |     |     |     |     |     |
| 熱中症予防情報の提供及びモニタリング            |     |     |     |     |     |
| モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検討 |     |     |     |     |     |

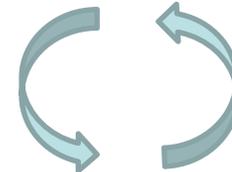
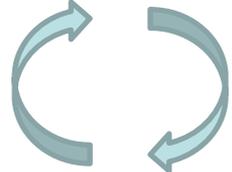
3. 施策の効果

ヒートアイランド現象、及びその影響、対策効果等は現段階では定量的な評価が困難である。本事業によって、定量的な施策目標を作成・実行するための影響指標や評価手法を検討し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

# ヒートアイランド対策

## 対策計画策定ガイドライン（平成20年度作成）

→自治体等における対策計画の策定手法を提案、長期的・計画的実施の指針を提示



自治体の対策等から  
得られた知見の  
更なる蓄積

・自治体への対策推進  
・対策効果の定量化

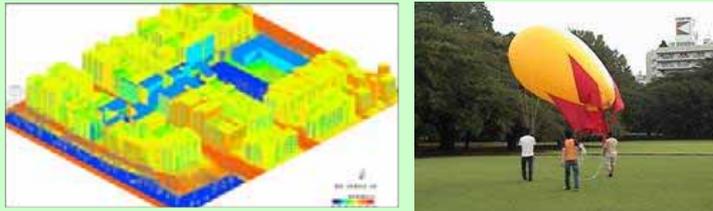
民間企業への  
対策推進

民間企業の対策から  
得られた知見の  
更なる蓄積

## クールシティ推進事業

### 対策評価手法の確立

- 都市熱環境のモニタリング
- シミュレーションによるメカニズム解析

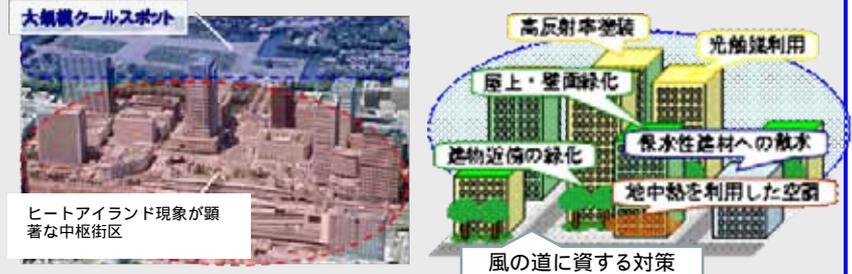


熱環境改善効果の指標化・定量化  
現状把握手法・評価手法の確立  
熱中症予防情報の充実

## クールシティ中枢街区パイロット事業

### 集中的・一体的な対策事業の実施

→民間によるモデル街区での集中的な事業



建築物の省CO2化  
他の事業者への実用性・有効性PR

世界に誇るクールシティの創出